

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小諸ブランドの食と文化を育てる、駅前マルシェ事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 こもろの杜
事業区分	産業振興、雇用拡大 (エ 商業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,087,302 円 (うち支援金: 815,000 円)

事業内容

小諸駅前の駐車場ガーデン、せせらぎの丘で、5月から11月まで、月に1回程度のガーデンマルシェ・バルを開催した。(1回は、相生町公園で実施)様々な実施主体を育てるとい目的から、実行委員会を組んだり、共催となったりという実施体制づくりを進めた。(助成対象はNPO 主催事業のみ)

5月20日 ガーデンマルシェ
 7月28日 駐車場ビアガーデン
 8月11日 こもろ青空バル
 9月2日 あいおい坂公園マルシェ
 9月30日 地酒まつり
 10月21日 ワインフェア・ミニマルシェ
 11月3日 魔女の市場 11月11日ワインマルシェ



【目標・ねらい】

- ①まちなかで定期的なマルシェの定着を目指す。
- ②生産者、料理人、クラフト作家などのネットワークづくり。
- ③コーディネイターの育成。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

イベント来訪者の総計が約2300人、出店者総計が113組だった。

まちなかマルシェを、いろいろな主体が連携して実施しているという機運がたかまった。

小諸市の農業ブランドづくりの取り組み「アグリシフト」の参加生産者と協力体制ができた。

ワイン特区で生まれ小規模ワイナリーのワインを紹介し、PRすることができた。

- ・ 商店街主催の定期マルシェ(来年からの取り組み)のきっかけとなった。

※自己評価【A】

【理由】

若者たちによる実行委員会、商店街などまちの活性化に取り組む主体が形成され、農家、ワイナリーなどと協力体制が生まれた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も、まちなかの公園を活用して、マルシェやバルに取り組むさまざまな主体を育て、それがバラバラではなく連携して、毎月、小諸の農・食やクラフトのマルシェが開かれているようにしたい。その中で、小諸独自のブランドを市民とともに育てられると良い。それにより、まちなか活性化と農業ブランドづくりの取り組みに貢献していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある